

「Make a Difference」という生き方。

玉もかがみも、みがくことで輝きます。それは人間も社会も同じ。
みがくことで、変わらないと思っていたことすら変わるかも知れません。
一人では不可能でも、力を合わせれば変えられることもあります。
「みがかずば」の先にあるのは、自分自身、そして身近なところから
社会までも変えていく「Make a Difference」の実践。常に問題意識を持ち、
自ら積極的に周囲に働きかけ、社会に変革をもたらす、新しい時代のリーダーへ。
それは決して難しいことではありません。問題意識を持ちながら
自分本来の能力を見出し磨くことによって、誰もがなれるものなのです。

夢の実現へ。

お茶の水女子大学の教育は、「みがかずば」を体現し
「Make a Difference」を実践できる人間の育成をめざしています。
自分の力を信じ、絶えず自らを高めていくことができるこの環境が、
必ずやあなた自身を夢の発見と実現へと導いてくれるはずです。

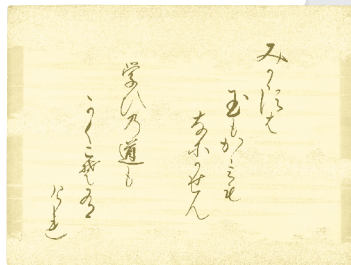
本プログラムに関するお問い合わせは、
お茶の水女子大学
リーダーシップ養成教育研究センター
03-5978-5520 migakazuba@cc.ocha.ac.jp

自分の力、信じよう。

migakazuba

お茶の水女子大学
Ochanomizu University

「みがかずば」とは。



みがかずば 玉もかがみも なにかせん
 学びの道も かくこそ ありけれ

誰もが大きな可能性を秘めている。

まさに今のみなさんは、磨きあげることによって必ず輝きを放ついわば「原石」。
 だからこそ、自信を持って自らの力を余すことなく引き出し、絶えず自分を成長させながら
 社会と関わっていく。それがお茶の水女子大学の「みがかずば」。

在学中はもちろん、卒業してからの長い人生においても、
 この精神がきっとあなたを支えてくれるはずです。

※ 創立直後の1876年に昭憲皇太后より下賜されたこの歌は、日本最古の校歌として今も歌い継がれています。



「Make a Difference」のための、すべてを。

「Make a Difference」の実践には、
 心遣い(自分と異なる意見も尊重し他者に配慮できること)、
 知性(問題を的確に捉え解決すること)、
 しなやかさ(難しい局面にも自信を持って柔軟に対応できること)
 という3つの特性が重要です。
 そこで必要なのは、創造性豊かな発想と多面的な思考力のスキル、
 存在感を示し議論や提案の場での的確に表現するスキル、そして仲間や周囲と協力し
 その力を引き出す組織化のスキル。在学中にそれらをぜひ身につけて欲しいのです。
 「Make a Difference」を実践できるリーダーへ。
 そのためのすべてが、お茶の水女子大学にはあります。

